

2026年度事業計画書

I 概況

1. 入館者数 125,000人

2025年度は長嶋茂雄氏の逝去という悲しい出来事もありましたが、日本のプロ野球、アマチュア野球はもちろんのこと、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手、山本由伸選手の大活躍などもあり野球界は大いに盛り上がりました。また、イチロー氏が日米同時に野球殿堂入りしたことは大きなニュースになりました。

さて、昨年度の当館の活動ですが、大リーグで活躍した日本人選手に関する展示、長嶋氏の追悼展示、東京六大学野球連盟100周年を記念した展示などの開催や、NPBとのコラボレーション企画「野球の学校2025」ではNPB野球規則委員友寄正人氏のトークイベント、小学生向けの「野球で自由研究！」でのイベント各種を開催するなど、野球の普及・振興に努めました。

また、当館の認知度を高めるため紹介映像を制作し、スタジアムや東京ドームシティなどで放映いたしました。

このような活動の結果、2025年度の入館者数は予算上の入館者数11万人を上回る12万人以上を見込んでいます。

2026年度は、今年開催されるWBCや侍ジャパンに関する展示、明治神宮野球場100周年の記念展示など野球振興に寄与するような展示やイベントを開催するとともに、夏休みの「野球で自由研究！」を含む「野球の学校2026」をさらに発展させるなどの活動を行い、予算上の入館者数は125,000人といたしますが、それ以上のお客様にご来館いただけるよう職員一同努力いたします。

2. 野球殿堂

2026年の野球殿堂入りが決定した栗山英樹氏の表彰式は、7月28日（火）東京ドームで開催されるプロ野球オールスターゲームの試合開始前に行なう予定です。

恒例の顕彰者ゆかりの品々を展示する「野球殿堂入り特別展」は、表彰式終了後に野球殿堂ホールにて開催いたします。

また、野球殿堂の知名度を高める施策として、顕彰者によるトークイベントの開催、ホームページ内にある野球殿堂サイトの充実化、オフィシャルガイド「野球殿堂2026」の発行などを予定しております。

3. その他

2026年2月の臨時休館明けより、老朽化対策として館内展示エリアの照明をLEDへ変更、展示環境改善策としてプロ野球TODAYの展示ケース内の床面を変更、キャッシュレス対応の向上施策として、受付にQRコード決済サービスの導入などをいたします。

今年度の老朽化対策としては、空冷式チラーの入替、殿堂ホールや企画展示室照明のLED変更などの設備メンテナンスを行います。また、新設展示コーナーとして、長嶋氏のユニホームや用具などの常設展示を考えています。

Ⅱ 館内活動

【図書室】

<重点目標>

- (1) 資料の図書管理システムへの登録を推進し、利用者の利便性向上を図る。
- (2) 収蔵スペースの整理を行い、新たな資料が入るスペースを確保する。

<ベースボール・インフォメーション・センター化に向けて>

[収集]

下記の資料を中心に積極的に収集し、独自のコレクションを構築する。

- (1) プロや高校、大学、社会人、軟式、女子野球等の資料。
- (2) 外国語の資料。
- (3) 野球文化に関する資料。
- (4) 幅広い年齢層に対応できる資料。

[組織化]

資料状況を確認しながら以下のことを中心に行う。

- (1) 図書管理システムへの資料登録を計画的に行う。
- (2) 過去に寄贈された資料の整理。
- (3) デジタル化資料の閲覧システムの構築。
- (4) 財産目録上にある資料の処遇について検討。

[保存]

資料の保存環境を整える。

- (1) 資料のデジタル化の継続。
- (2) 資料の製本。
- (3) 保存環境の充実。

[利用者サービスの向上]

- (1) 「やきゅうの本だな」拡大版の定期的な開催。
- (2) OPACでの蔵書検索可能冊数の増加、書誌情報の充実。
- (3) データベース導入の検討。
- (4) レファレンス対応。

- (5) 図書の自由閲覧スペース「やきゅうの本だな」の充実。
- (6) 利用者調査（アンケート実施など）。
- (7) 図書利用予約システムの継続。
- (8) ホームページの充実（博物館 HP から予約できるように）。
- (9) 利用者環境の改善（備品新調など）。
- (10) デジタル化資料の閲覧（図書室内のみ）。

[調査研究]

- (1) 野球文化に関する資料の調査研究。
- (2) 野球殿堂に関わる資料調査及び資料作成。
- (3) 明治、大正、昭和期の野球に関する資料の調査研究。
- (4) 資料のデジタル化についての先行研究の調査。
- (5) オーラルヒストリーの収録(収集)と公開。

[情報発信]

- (1) 日本野球学会への参加、発表。
- (2) 図書館総合展への参加、発表。
- (3) SNS の活用（X、Instagram など）。
- (4) 所蔵資料紹介を Web で行う。
- (5) 博物館や図書室の歴史紹介を Web で行う。
- (6) 図書室資料の展示。

<教育普及活動>

- (1) 「野球で自由研究！」お悩み相談コーナーの設置。
- (2) 「野球で自由研究！」関連資料の販売。
- (3) 「第11回 野球で自由研究！コンテスト」の開催。

<他機関との連携>

- (1) 日本図書館協会や日本体育図書館協議会、専門図書館協議会などの大会や総会、研究会への参加(情報交換)。
- (2) 秩父宮記念スポーツ図書館をはじめとするスポーツ系図書館との連携強化。

【学芸員室】

<重点目標>

(1) 資料管理体制

収蔵資料の計画的な管理および、保存環境の改善を継続的に実施し、資料の長期保存と展示・貸出活用の円滑化を図るとともに、業務効率の向上を目指す。

(2) 業務運営体制

業務分担および進行管理等を整備し、計画的な事業運営を行う。

(3) 集客力強化と来館価値の向上

2026年 WORLD BASEBALL CLASSICをはじめとする社会的関心の高いテーマを積極的に展示へ反映し、専門性と話題性を兼ね備えた展示を展開することで、新規来館者およびリピーターの獲得を図る。

<収集>

(1) 資料収集方針に基づき、当館コレクションの充実を図るとともに、将来的な展示・研究資源の基盤強化を進める。

<整理・保管・保存>

(1) 収蔵資料の登録作業を計画的に進める。

(2) 分類別収蔵を徹底し、収蔵環境向上に努める。

(3) 将来的な資料管理システム導入を見据え、資料確認及び照合作業、登録情報の充実化を継続的に実施する。

(4) 外部収蔵庫、クラウドサービスを活用し、業務環境改善につなげる。

<展示・イベント>

[企画展・特別展]

(1) 「WORLD BASEBALL CLASSIC 侍ジャパン、世界一への挑戦 2026」
2月23日～5月6日

(2) 「侍ジャパンと世界に広がる野球」5月中旬～8月

(3) 「野球で自由研究！」7月～8月

(4) 「明治神宮野球場 100周年記念展」9月～11月

(5) 「野球報道写真展 2026」12月～2027年2月

[常設展・特集展示]

(1) 全日本大学野球選手権大会 6月予定 ※アマチュア野球コーナー

(2) 高校野球特集展示 選抜3～5月、選手権8月予定 ※アマチュア野球コーナー

(3) 都市対抗野球 8月予定 ※アマチュア野球コーナー

- (4) 引退選手特集 11月～2027年2月予定
- (5) 「野球で自由研究！」コンテスト作品展 2027年春予定
- (6) 常設展示 長嶋茂雄 展示コーナー設置

〔「野球の学校」イベント〕

- (1) 野球殿堂入りの方々によるトークイベント
- (2) 「野球で自由研究！」関係イベント
審判員、記録員イベント、バット製作実演、グラブ製作教室等

< 調査・研究 >

- (1) 企画展および特別展に関連する調査研究を実施し、展示内容の質的向上を図る。
- (2) 19世紀野球史および戦中期の日本野球に関する調査研究を継続する。
- (3) 学会・研究会への参加を通じて専門性の向上および人的ネットワークの構築を行う。

< 広報活動 >

- (1) 企画展やイベント情報を、積極的にテレビ、ラジオ、新聞、情報誌などにリリースし、マスコミへの広報に努める。また、チラシやポスターを制作し、東京ドーム構内や首都圏の本拠地球場、近隣施設等で配布、掲示し、周知に努める。
- (2) ホームページやSNS、P R T I M E S で企画展やイベント情報を紹介する。
- (3) 当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に積極的に協力してP Rに努める。
- (4) N P B、アマチュア野球関係団体に働き掛け、当館を利用したイベント、記者会見等を積極的に誘致し、館内の有効利用に努める。
- (5) 2025年度版年報の製作、発行。
- (6) 「野球殿堂2026」の製作、出版。

< 学校教育との連携 >

- (1) 学校教育向け体験学習プログラムの対応を行う。2026年度受入れは原則として平日の火、木の13:30～14:30の1日1組とし、①「野球の歴史について」、②「野球殿堂博物館について」、③「野球にまつわる仕事について」の3種のテーマを選択していただき、担当者からプレゼンテーションを行う予定。
- (2) 学芸員課程の履修学生を実習生として受入れる。(担当：図書室)

【建物設備の維持管理】

- (1) 館内LED照明への交換工事を行う。

- (2) 館内カーペットの交換工事を行う。
- (3) 空調設備の室外機、室内機の保守点検を、年4回専門業者に委託して、維持管理に努める。
- (4) 消防設備の保守点検を、年2回専門業者に委託して行う。
- (5) 自動扉の点検を、年3回専門業者に委託して行う。
- (6) エレベーターの保守点検を、年4回専門業者に委託して行う。
- (7) 受付ボスレジシステムの点検を、年2回専門業者に委託して行う。

【収益事業】

- (1) 新商品の開発及び商品アイテムの拡充に努める。また、オンラインショップにおいてキャンペーンを実施し、収入増につなげる。
- (2) 2026年野球殿堂入りの栗山英樹氏のメモラビリアをNPBオンラインショップで販売する。

Ⅲ 館外活動

- (1) 館外貸出
資料貸出および企画協力を通じて野球文化の普及に寄与するとともに、当館の認知度向上およびネットワーク強化を図る。
- (2) 「日本スポーツミュージアムネットワーク」への参加。(2026年2月～)
- (3) 船橋市との相互協力協定。(2017年4月～)
- (4) 全国博物館大会への参加。

Ⅳ 野球殿堂関連の事業

- (1) 2026年に野球殿堂入りした栗山英樹氏のレリーフ制作を彫刻家松田光司氏に依頼する。
- (2) 野球殿堂入り特別展を、7月～9月にかけて殿堂ホールで開催する。
- (3) 2027年野球殿堂入りの有資格者の調査を行う。競技者表彰委員会幹事による東日本幹事会を東京、西日本幹事会を大阪で開催し、候補者を決定し発表する。
- (4) 競技者表彰委員会委員の異動調査を、各社の代表を通じて行う。その後、各社の代表経由で、委員に投票用紙を配布、記名投票にて、投票用紙の回収を行う。その後、競技者表彰委員会東日本幹事会の幹事により開票作業を行う。
- (5) 特別表彰の候補として推薦された方の調査を行い、資料を作成する。特別表彰委員会候補者選考委員会を開催し、候補者を決定し発表する。その後、委員に

対し投票用資料を郵送し、特別表彰委員会を開催する。

- (6) 競技者・特別両委員会で選出された方への 2027 年野球殿堂入り通知式を東京ドームホテルにて行う。
- (7) 野球殿堂関係資料の整理を行う。
- (8) 顕彰者のご家族の近況を確認するため、アンケートを実施する。
- (9) 野球殿堂アーカイブ(仮称)の公開。